

令和5年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査
結果の概要と今後の取組について

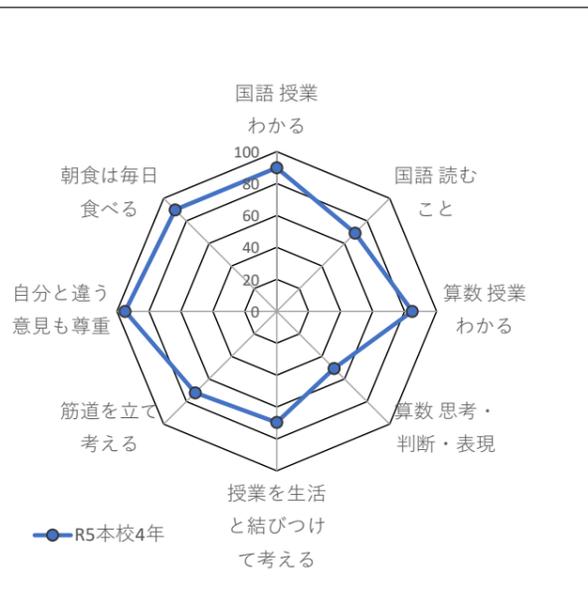
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月12日（水）～14日（金）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（火）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す児童像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、学校報告会等でもお伝えします。

学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す児童像等）

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな心身」の『生きる力』のバランスが取れた子供の育成を図り、新しい時代を切り拓くために必要な資質・能力を育む。

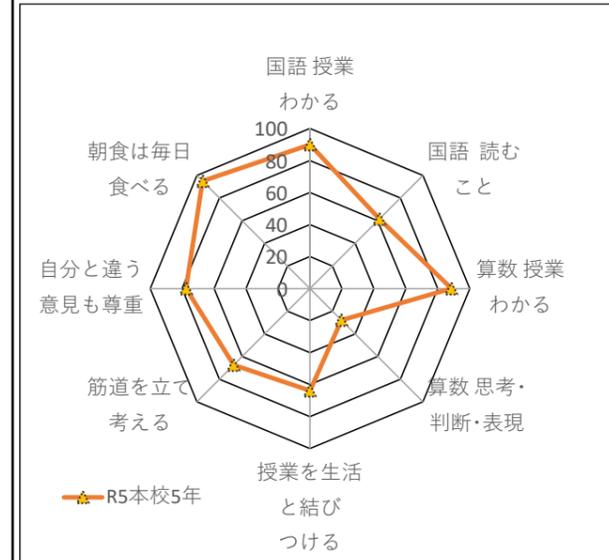
- ・進んで学ぶ子 自ら考え、他者と協働し、学びを生活に生かそうとする子
- ・よく考える子 創造性に富み、自分で物事を判断・表現しようとする子
- ・思いやりのある子 他との違いを認められる、心豊かな優しい子
- ・たくましい子 心身ともにすこやかで、最後までやり遂げようとする子

令和5年度 川崎市学習状況調査 4年生



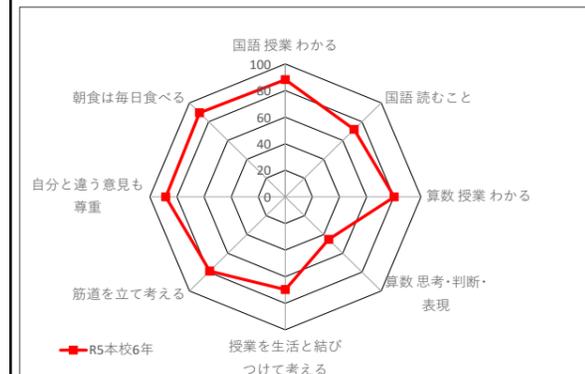
- ・「国語の授業がわかる」と答えた児童の数値は全体で90ポイントでした。日々の授業で、児童が「わかる」と感じながら取り組んでいる様子が見えます。引き続き「できた実感」を得られるようにしていきます。「国語 読むこと」は69ポイントでした。全市の平均を上回っていますが、授業の中では心情の変化や情景描写などに更に着目した読みについて意識して取り上げていきます。
- ・「算数 思考・判断・表現」は学習内容の活用を含む項目で、全体としては51ポイントでした。全市の平均は上回りましたが、学校教育目標「創造性に富み、自分で物事を判断・表現しようとする子」を踏まえ、友達とのかかわりを通して多様な考え方に触れながら、筋道立てて考え、表現する活動を重視していきます。
- ・「自分と違う意見も尊重している」は95ポイントでした。学校教育目標の「他との違いを認められる、心豊かな優しい子」の育成に関して、意識の高さが見えています。引き続き、日々の授業や係・当番活動、実行委員の活動等で、他者と協力し、多様な意見のよさを認めながら、よりよい活動を積み重ねていけるよう支援していきます。

令和5年度 川崎市学習状況調査 5年生



- ・「国語の授業がわかる」と答えた児童の数値は90ポイントでした。日々の授業では「わかった」と感じながら取り組んでいる様子が見えます。「国語 読むこと」は62ポイントで、全市平均をやや上回っていますが、学年の学習内容を踏まえて、叙述を基にした心情の変化や、文章の全体の構成を捉えて要旨を把握する力を重視して育成していきます。
- ・「算数 思考・判断・表現」は28ポイントで、全市平均から3ポイント下回りました。学習した内容を活用する力を高めるため、内容を的確に捉えて筋道立てて考えることや、説明や伝え合う等の表現する活動を重視して授業を行っていきます。今年度から実施している少人数指導の良さを生かして、次年度は3ポイントアップを目指していきます。
- ・「朝食は毎日食べている」は95ポイントでとても高い数値でした。学校教育目標で掲げている「心身ともにすこやかで、最後までやり遂げようとする子」の育成のため、1日の活力源となる朝食について、ご家庭のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

令和5年度 川崎市学習状況調査 6年生



全国学力・学習状況調査 6年生



- ・川崎市学習状況調査の「国語 読むこと」は、72ポイントでした。全市平均より3ポイント下回りましたが、全国学力・学習状況調査では平均より5ポイント高いという結果でした。引き続き、叙述から事実と感想、意見などの関係を押さえたり、登場人物の関係や心情の変化について丁寧に読み取ったりする学習を重視していきます。また、学年が上がると文章の量が多くなり内容が捉えにくくなる傾向がありますので、より多くの文章に触れて、慣れ親しんでいけるよう働きかけていきたいと思います。ご家庭でもご協力をお願いします。
- ・全国学力・学習状況調査の「国語 話すこと・聞くこと」は74ポイントで全国平均の73ポイントを上回りました。話し合う活動を重視して、さらに表現力の向上を目指します。
- ・川崎市学習状況調査の「算数 思考・判断・表現」は45ポイントで、市の平均と同じでした。質問紙調査の「わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習につなげている」と回答した児童が7割弱でした。自分の学習を振り返って、良かった所を確認したり、次に生かすことを考えたりする活動を行い、見直しと振り返りを大切に授業に取り組んでいきます。
- ・川崎市学習状況調査の「授業で習ったことを普段の生活と結び付けて考えている」は70ポイントでした。授業の中で、応用力を問う問題に積極的に取り組み、学んだ知識や技能は一般化することで、他の場面でも活用できることを感じられるようにしていきます。